

記入上の留意点

令和8年度

(様式2)

定地調書

・将来現地を確認できるように所在地を可能な限り詳しく記入

☆**植栽地の名称を必ず記入**

(施設、公園、河川、道路、里山の名称等)

植栽予定地	所在地	植栽予定地の名称-公園名、通称など-(※必須)		
	面積	区域面積 (公園あるいは施設の全面積)	植栽予定地を含む全域の面積を記入	
	ほか	さくらの植栽(占有)面積	植栽されたさくらの生育を保障する範囲(枝の伸ばせる範囲、20~30年後も枝を張れる範囲)を記入	
区分	公園・施設周辺・道路・河川・里山・その他			
植栽予定地の所有者	住所			
	氏名			
植栽予定地の現況及び施設等の利用状況	現在の状況	原則、公有地。民有地の場合は、さくらが生存している間は公開保全が約束されていること		
	利用状況	公園名・通称等() ※ 近景および遠景の写真を必ず添付してください。		
植栽の目的	さくらを植栽、育成する意義を記入			
	※ 植栽者あるいは管理者として桜の植栽に対する意義、目的、効果、申請理由を記入してください。			
寄贈希望品種、数量および植栽間隔	品 種 名	本 数	植 栽 間 隔 (樹 間)	m ~ m
		本		
		本		
		本		
	合 計	本		
<ul style="list-style-type: none"> ・原則、植栽予定地に適した品種 ・希望品種を記入 (但し、植栽目的、植栽予定地の自然環境及び在庫数量により希望の品種が納品されない場合もある) ・数量については、植栽面積、植栽間隔、景観構成により決定される 				
植栽予定日	令和 年 月 日	◎ サトザクラ類は、1本/36㎡~ 64㎡以上(植栽間隔:6~8m以上)		
植樹祭等	有・無 (年 月 日)	◎ カンヒザクラは、1本/25㎡~ 64㎡以上(植栽間隔:5~8m以上) 必要です。		
植樹後の育成主及入手入れ	住所	〒		
	氏名			
若木納	<ul style="list-style-type: none"> ・納品、受取り担当者を記入 ・受取り担当者は、必ず連絡がとれる方を選任 ・納品日時の連絡は、受取り担当者へ通知 ・原則、さくら若木・事業表示石碑・品種表示板は、同一の場所としますが、受入の都合上、やむを得ない場合は事前に相談すること ・担当者に移動や変更が生じた場合速やかに連絡をすること 			
	担当	氏名		
	電話	E-mail		
	F A X	(必須)		
<p>納品書や受領書等はメールで送付しますので正確にE-mailアドレスを記入。 ※大半の連絡がメール連絡となります。</p>				

※ A4書式に統一して下さい。

※E-mailアドレスは正確にご記入ください。